



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月31日

上場会社名 虹技株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5603 URL http://www.kogi.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 幹雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	16,536	17.0	1,033	△22.2	1,052	△22.8	498	278.7
29年3月期第3四半期	14,128	0.1	1,328	31.0	1,363	53.3	131	△60.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 998百万円 (704.0%) 29年3月期第3四半期 124百万円 (△44.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	150.65	—
29年3月期第3四半期	39.88	—

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	28,392	12,655	35.0	2,997.20
29年3月期	23,970	11,545	39.3	2,852.40

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 9,934百万円 29年3月期 9,419百万円

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	50.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は5円となり、1株当たり年間配当金は5円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,200	12.3	1,360	△21.3	1,210	△33.6	650	75.5	196.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	3,362,163株	29年3月期	3,362,163株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	47,429株	29年3月期	60,014株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	3,310,121株	29年3月期3Q	3,302,213株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当および連結業績予想について)

当社は、平成29年6月28日開催の第112回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。併せて同日付で単元株式数の変更（1,000株から100株への変更）を実施しております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想および連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想
 - 1株当たり期末配当金 5円00銭（注1）
2. 平成30年3月期の連結業績予想
 - 1株当たり当期純利益 通期 19円64銭

(注1) 株式併合考慮前に換算した配当額です。

(注2) 平成30年3月期の年間配当金（株式併合考慮前）は5円00銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移しましたが、海外情勢等の不安要因もあり、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもとで当社グループは、『1. 社会における「信頼」の創造』、『2. 社内における「相互信頼」の醸成と「自立人」の育成』、『3. 新たな領域への挑戦』を柱とする第5次3カ年計画（平成28年～平成30年度）を推進し、国内事業の基盤強化に努めてまいりました。また、海外事業においても、中国国内第2の生産・販売拠点となる南通虹岡鑄鋼有限公司が、昨年7月14日に開業式を迎えることができました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 165億3千6百万円（前年同期比 17.0%増）となりましたが、主要原材料価格の高止まりなどもあり、損益面では、営業利益 10億3千3百万円（前年同期比 22.2%減）、経常利益 10億5千2百万円（前年同期比 22.8%減）となりました。また、前年同期に計上しました投資有価証券評価損がなくなり、親会社株主に帰属する四半期純利益は 4億9千8百万円（前年同期比 278.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① 鋳物関連事業

鋳物は、エネルギー関連の低迷で、鍛鋼、厚板用鋳型の需要が減少し、売上高は、前年同期を下回りました。ロールは、主要顧客先の国内電炉メーカーの需要は好調でしたが、海外向けの売上げが減少したため、売上高は、前年同期を下回りました。自動車用プレス金型鋳物は、国内自動車メーカー向け需要が活況にあり、売上高は、前年同期を上回りました。大型産業機械用鋳物は、工作機械向け需要が活況にあり、売上高は、前年同期を上回りました。小型鋳物は、下水道鉄蓋や電線共同溝用鉄蓋は前年同期を上回りましたが、機械鋳物が低迷し、売上高は、前年同期を下回りました。デンスパーは、建設機械を中心に産業機械向け需要が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がける天津虹岡鑄鋼有限公司は、引き続き好調に推移し、南通虹岡鑄鋼有限公司も昨年夏より営業活動を開始しました。

この結果、当事業の売上高は、125億9千2百万円（前年同期比 3.9%増）、セグメント利益 8億8千1百万円（前年同期比 33.5%減）となりました。

② 環境関連事業

環境装置事業は、大型案件の受注活動に努めたことにより、売上高は、前年同期を大きく上回りました。

この結果、当事業の売上高は、22億4千1百万円（前年同期比 485.1%増）、セグメント利益 1億7千4百万円（前年同四半期はセグメント損失 1千1百万円）となりました。

③ その他の事業

送風機は、民間設備投資に動きが出始め、売上高は、前年同期を上回りました。環境・省エネ商品のトランスベクターは、製鉄関連向けは低迷しましたが、IT関連向け検査装置冷却用クーラー等の需要増により、売上高は、前年同期並みで推移しました。KCメタルファイバーおよびKCカーボンセラミックスも、前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、17億2百万円（前年同期比 4.8%増）、セグメント利益 1億5千3百万円（前年同期比 3.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、159億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億9千2百万円増加いたしました。これは主として受取手形及び売掛金が9億9千5百万円、電子記録債権が4億1百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が2億3千3百万円減少したことなどによります。

固定資産は、124億1千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億2千9百万円増加いたしました。これは、主として有形固定資産が22億5千7百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、283億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ44億2千2百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、107億7千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億6千3百万円増加いたしました。これは、主として短期借入金が10億3千4百万円、支払手形及び買掛金が10億1千2百万円増加したことなどによります。

固定負債は、49億6千万円となり、前連結会計年度末に比べ14億4千8百万円増加いたしました。これは、主として長期借入金が増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、157億3千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億1千2百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、126億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億9百万円増加いたしました。これは、主として親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金や非支配株主持分が増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の39.3%から35.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の業績予想につきましては、平成29年5月9日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,967	2,733
受取手形及び売掛金	7,168	8,163
電子記録債権	777	1,178
商品及び製品	975	1,154
仕掛品	1,030	1,159
原材料及び貯蔵品	779	817
繰延税金資産	104	73
その他	290	707
貸倒引当金	△4	△6
流動資産合計	14,088	15,981
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,815	2,985
機械装置及び運搬具(純額)	2,791	3,960
土地	1,220	1,220
その他(純額)	1,472	1,389
有形固定資産合計	7,299	9,556
無形固定資産	222	253
投資その他の資産		
投資有価証券	2,070	2,286
退職給付に係る資産	190	216
その他	99	99
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,359	2,601
固定資産合計	9,881	12,411
資産合計	23,970	28,392

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,406	4,418
短期借入金	2,266	3,301
未払法人税等	207	34
賞与引当金	189	134
その他	2,843	2,887
流動負債合計	8,913	10,777
固定負債		
長期借入金	3,207	4,554
繰延税金負債	123	219
未払役員退職慰労金	9	9
退職給付に係る負債	162	170
その他	8	6
固定負債合計	3,511	4,960
負債合計	12,425	15,737
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	587	602
利益剰余金	6,249	6,549
自己株式	△69	△54
株主資本合計	8,770	9,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	496	646
繰延ヘッジ損益	△14	△13
為替換算調整勘定	268	299
退職給付に係る調整累計額	△102	△97
その他の包括利益累計額合計	649	835
非支配株主持分	2,126	2,720
純資産合計	11,545	12,655
負債純資産合計	23,970	28,392

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	14,128	16,536
売上原価	11,128	13,545
売上総利益	2,999	2,991
販売費及び一般管理費	1,670	1,957
営業利益	1,328	1,033
営業外収益		
受取利息及び配当金	27	30
補助金収入	—	44
寄付金収入	67	—
その他	45	39
営業外収益合計	140	113
営業外費用		
支払利息	42	64
為替差損	31	—
その他	31	29
営業外費用合計	105	94
経常利益	1,363	1,052
特別損失		
投資有価証券評価損	554	—
特別損失合計	554	—
税金等調整前四半期純利益	808	1,052
法人税、住民税及び事業税	323	216
法人税等調整額	61	54
法人税等合計	385	270
四半期純利益	423	782
非支配株主に帰属する四半期純利益	291	283
親会社株主に帰属する四半期純利益	131	498

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	423	782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	381	149
繰延ヘッジ損益	△15	1
為替換算調整勘定	△677	60
退職給付に係る調整額	11	4
その他の包括利益合計	△299	215
四半期包括利益	124	998
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	164	684
非支配株主に係る四半期包括利益	△39	313

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋳物 関連事業	環境 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,120	383	12,503	1,624	14,128	—	14,128
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	3	3	△3	—
計	12,120	383	12,503	1,628	14,131	△3	14,128
セグメント利益 又は損失(△)	1,324	△11	1,313	157	1,471	△107	1,363

(注) 1. セグメント利益の調整額△107百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△178百万円、営業外収益が133百万円、営業外費用が△62百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II. 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋳物 関連事業	環境 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,592	2,241	14,833	1,702	16,536	—	16,536
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	14	14	△14	—
計	12,592	2,241	14,833	1,717	16,551	△14	16,536
セグメント利益 又は損失(△)	881	174	1,056	153	1,209	△156	1,052

(注) 1. セグメント利益の調整額△156百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△195百万円、営業外収益が69百万円、営業外費用が△29百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「環境関連事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。